2　地理歴史・公民

学校番号	303

平成 31 年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史 B	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「新選世界史 B」　（東京書籍）						
副教材等	明解世界史図説　エスカリエ　十一訂版　（帝国書籍）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史という時間軸を感じる。
・歴史的事象に「なぜ」の視点を持つ。
・歴史を背景とした世界の国の諸事情を踏まえ、現在の日本の在り方を考える。

2　学習の到達目標

・諸資料に親しみ、世界の歴史と我が国の歴史と関連付けながら理解させ、文化の多様性と歴史的思考力を培う。
・現代の諸課題を歴史と結び付け歴史的観点から考察することができる。
・世界の歴史を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	世界の歴史に対する関心と課題意識を高め，意欲的に追究するとともに，国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。	世界の歴史から課題を見いだし，文化の多様性・複合性や現代世界の特質を多面的・多角的に考察し，国際社会の変化を踏まえ公正に判断して，その過程や結果を適切に表現している。	世界の歴史に関する諸資料を収集し，有用な情報を選択して，読み取ったり図表などにまとめたりしている。	世界の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し，その知識を身に付けている。
評価方法	授業態度 ワークシート	定期考査 グループワークの評価、ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	世界史への扉	・自然環境と人類のかかわり ・日本の歴史と世界の歴史のつながり ・日常生活にみる世界史	○ ○	○	○ ○	○	a:自然環境と人類の関わり，日本の歴史と世界の歴史のつながり，日常生活にみる世界の歴史に関わる主題を意欲的に考察し，地理と歴史への関心を高めようとしている。 b:主題設定した学習を通して，具体的様相や変遷などを考察し，その過程や結果を適切に表現している。 c:主題設定した学習を通して，事例の考察に必要な諸資料について，有用な情報を読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:主題設定した学習を通して，地理的視点の重要性，日本の歴史とのつながり，日常生活からも世界の歴史が捉えられることなどの世界史を学ぶ視点と，世界史学習の意義に気付いている。	ワークシート
	西アジア世界・地中海世界の形成	・地球と人類のはじまり ・オリエント文明の形成 ・ギリシア世界とオリエント ・ローマ帝国と地中海世界	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a:諸文明が自然環境に適応しながら築き上げられたことや，隣接する地域世界が相互に影響しあってきたことに対する関心を高め，意欲的に追究しようとしている。 b:西アジア世界・地中海世界の形成過程及びオリエント文明やギリシア・ローマ文明の特色を多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 c:諸文明の特質に関する資料から有用な情報を適切に選択して，関連する事項を年代順に並べたり，因果関係で結び付けたりするなどの活動を通して，世界史を時間的なつながりに着目して整理している。 d:西アジア世界と地中海世界の形成過程についての基本的な事柄を把握し，その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート

	南アジア世界・東南アジア世界の形成	・古代インド文明の形成 ・ヒンドゥー国家と社会の展開 ・東南アジア世界の形成	○	 ○ ○	 ○	○ ○	a:諸文明が自然環境に適応しながら築き上げられたことや，隣接する地域世界が相互に影響しあってきたことに対する関心を高め，意欲的に追究しようとしている。 b:南アジア世界・東南アジア世界の形成過程を多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 c:諸文明の特質に関する資料から有用な情報を適切に選択して，関連する事項を年代順に並べたり，因果関係で結び付けたりするなどの活動を通して，世界史を時間的なつながりに着目して整理している。 d:南アジア世界と東南アジア世界の形成過程についての基本的な事柄を把握し，その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート
2学期	東アジア世界・内陸アジア世界の形成	・中国の古典文明 ・中華帝国の形成 ・中国の分裂と遊牧国家 ・中華帝国と東アジア ・古代日本と東アジア世界	○ ○	 ○ ○ 	○ ○ ○	 ○ ○ ○ 	a:諸文明が自然環境に適応しながら築き上げられたことや，隣接する地域世界が相互に影響しあってきたことに対する関心を高め，意欲的に追究しようとしている。 b:日本を含む東アジア世界・内陸アジア世界の形成過程及び中華文明や東アジア諸民族の特色を多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 c:諸文明の特質に関する資料から有用な情報を適切に選択して，関連する事項を年代順に並べたり，因果関係で結び付けたりするなどの活動を通して，世界史を時間的なつながりに着目して整理している。 d:日本を含む東アジア世界と内陸アジア世界の形成過程についての基本的な事柄を把握し，その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート

	イスラーム世界の形成と拡大	・イスラーム国家の成立 ・軍人政権の時代 ・アフリカ・南アジアのイスラーム化 ・イスラームの文化	○ ○	 ○ ○ 	 ○ ○	○ ○ 	a:イスラームの拡大と交流の活発化，ヨーロッパ世界の形成，内陸アジア諸民族の動向と諸地域世界の再編といったユーラシア規模での動きに対する関心を高め，意欲的に追究しようとしている。 b:イスラーム世界の形成と拡大及びイスラームの特色を多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 c:諸地域世界の接触や交流に関する資料から有用な情報を適切に選択して，地図上に表したり，世紀ごとに比較したりするなどの活動を通して，世界史を空間的なつながりに着目して整理している。 d:イスラーム世界の形成と拡大の過程についての基本的な事柄を把握し，その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート
3学期	ヨーロッパ世界の形成と変動	・ビザンツ帝国と東ヨーロッパ世界 ・西ヨーロッパ世界の成立 ・ヨーロッパ世界の変動	○ ○	 ○	 ○ 	○ ○ 	a:イスラームの拡大と交流の活発化，ヨーロッパ世界の形成，内陸アジア諸民族の動向と諸地域世界の再編といったユーラシア規模での動きに対する関心を高め，意欲的に追究しようとしている。 b:ヨーロッパ世界の形成と展開及びヨーロッパ文明の特色を多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 c:諸地域世界の接触や交流に関する資料から有用な情報を適切に選択して，地図上に表したり，世紀ごとに比較したりするなどの活動を通して，世界史を空間的なつながりに着目して整理している。 d:キリスト教とヨーロッパ世界の形成と展開の過程についての基本的な事柄を把握し，その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート

	内陸アジア世界と諸地域世界の交流と再編	・北方諸民族と宋 ・モンゴル帝国の興亡 ・ユーラシア諸地域の交流と再編 ・『大旅行記』から世界のつながりをみてみよう	○ ○	 ○ ○ 	 ○ ○	○ ○ 	a:イスラームの拡大と交流の活発化，ヨーロッパ世界の形成，内陸アジア諸民族の動向と諸地域世界の再編といったユーラシア規模での動きに対する関心を高め，意欲的に追究しようとしている。 b:内陸アジア諸民族が諸地域世界の交流と再編に果たした役割を多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 c:諸地域世界の接触や交流に関する資料から有用な情報を適切に選択して，地図上に表したり，世紀ごとに比較したりするなどの活動を通して，世界史を空間的なつながりに着目して整理している。 d:内陸アジア諸民族が諸地域世界の交流と再編に果たした役割についての基本的な事柄を把握し，その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。